

University of California, Irvine 大滝謙太

2014 秋レポート

今学期は夏同様クラスに行く必要が無く、研究に没頭する毎日です。クラスがあると内とでは仕事のはかどり具合が非常に違います。一日中パソコンの前で作業し、実験室へ行って実験してデータを得てまたパソコンで解析をするということが出来ます。自分でも驚くほど休憩なしで働くことができるので、毎週非常にたくさんのデータを集めることができるようになりました。

今回のレポートはこの一カ月で起こったことが劇的に重要なことばかりだったので、この一カ月の内容を中心に書きました。

今学期はクラスを履修する必要はありませんが一つだけ履修しているクラスがあります。**Public speaking** というクラスで、プレゼンテーション等で人前で話すスキルを鍛えるというクラスです。あがり症で人前に立つとものすごく緊張してしまうたちなので、いい機会だと思い履修しました。声を出す練習や、リラックスする方法など、非常に役に立つクラスですが、その一環として人と話す機会が以前よりも格段に増えました。それに伴い、クラス外でも進んでひとと接するようにもなりました。その結果、もっと様々な事にかかわりたいと思うようになり、行事や、説明会、セミナー等に積極的に参加するようになりました。そんななか、カナダに拠点を持つ **myknowtion** と呼ばれる論文等の翻訳をする組織から声が掛りました。そのオファーの内容としては、論文等の特殊知識が必要な文章の日本語から英語絵の翻訳ができる人がほしいという事でした。自分自身論文検索をしていて中国語や日本語で書かれている論文を見つけると、非常に残念に感じていました。せっかくの研究成果を限られた範囲の人にしかアクセス可能にしないというのは、成果を発表しないに等しいことだと感じます。そして、自分がその限られた情報を世界中に広めることの手伝いができるのならば、是非とも参加したいと思いました。しかし、ここで、**visa** のリミットに直面しました。私は今 **F-1 visa**、つまり学生ビザでアメリカに滞在しているので、最優先事項は学業になります。その為、学外での仕事に関しては、専攻に直接的に関係していない限りは許可を得ることができません。**(Curricular Practical Training(CPT))**と呼ばれていて、仕事を週 20 時間の制限つきで授業として換算するシステムです。その為、通常の授業と同様、毎学期の申請が必要で、申請には学科主任の認証と履修科目の明示、その他 **visa** に関する書類がひつうようになります。) そこで、学科主任に熱い思いを乗せてメールを送りました。通常非常にいそがしいので、返事は非常に遅いのですが、幸運にも即座に **Yes** の返事が返ってきました。結果この翻訳の仕事は研究の空き時間、週末等で来学期から出来るようになりそうです。まだ書類提出までには及んでないので確定ではありませんが、必要事項はすべてそろいました。ただ、本当に空き時間を使った仕事なので、定期的な資金源にはなりません。

この仕事の他に電子顕微鏡やXRDを使える施設でのアシスタントのポジションに近々あきができるという話を聞きました。夏と秋にかけて、Denver X-ray conference と MS&T という学会にポスタープレゼンテーションとして参加したのですが、MS&T の学会で ceramographic competition という顕微鏡写真のコンペティションで電子顕微鏡画像部門一位を勝ち取りました。また、一般ポスタープレゼンテーション部門で二位になりました。それらがあり、非常に自信が高まっていたのと、電子顕微鏡の技術を証明する賞という武器があったため、是非とも電子顕微鏡のアシスタントとして働きたいと思いました。そこで、施設の管理人に是非アシスタントになりたいという話を持ちかけたところ喜んで迎えてくれました。しかし、またここでも研究室とアシスタントの仕事のかけもちにて起こる選択に面しました。アシスタントとしてのいいごとは、定期的に仕事があるわけではなく、必要な時必要とされるため定額の支払いはできません。そのため、学費や生活費のサポートにはなりません。その代わりに、働いた分だけの時間を無料で、施設を使用できることになります。通常使用した時間だけ、アドバイザーなりフェンドなりが使用料金を払わなければなりません。しかし、アシスタントとして働き、その分だけ無料使用できる時間が得られるということは、アドバイザーにとって非常に有益な事です。特に私は電子顕微鏡と XRD を頻繁に長時間使うので、このシステムは非常に助かります。アシスタントの仕事は、新しく器具を使う人のトレーニングや、外部から頼まれた試料を顕微鏡で写真を撮るなどです。また、アシスタントになるに際して、施設内の器具は全て無料でトレーニングを受けることができます。つまり、無料でスキルをふやせるということです。このポジションに関しても、アドバイザーは即 OK してくれました。そのほかに、来学期から TA になることができそうです。TA はアドバイザーが是非ともやってほしいということなので確定事項だと思います。ただ、それに際して、学費や生活費等のやりくりが複雑になってきて、現在どうすればいいかを模索中です。それと共に、外部へのインターンシップの誘いも受けました。このインターンシップはより専攻に直接的に関係している仕事内容で是非受けたいと考えています。しかし、TA と併せてするのは研究への時間を削ることのなってしまう可能性があるためこれもまだ検討の必要があります。この一カ月で一気にいろいろなオファー等があり、研究もはかどっていて、全て順調かに思えた矢先、研究に使っていた laptop に外部モニターを落とすという致命的なことをしてしまいました。しかも打ち所が悪く、ハードドライブ自身に破損がある可能性が高く、ハードドライブを開けてデータを取り出すことになりました。バックアップとして、実験のデータは確保されていますが、データをまとめたレポート等のデータはバックアップされておらず、再構成の必要があります。また、インストールしたソフトウェア等も損傷している可能性があり、非常に残念な結果となりました。現在、ハードドライブをクリーンルームがある施設に送って直してもらっていますが、新しいパソコンが買えるくらいの出費になりそうです。

この事件によりバックアップの重要性を再認識しました。外部ドライブ、クラウドや、one drive、Google drive 等のバックアップシステムをしっかりと活用しなければ行けないと思い

知らされました。

ただ、この破滅的な事件が起こっても、そこまでパニックになっていない自分に驚いています。グラフ等の再構成は時間が掛り正直嫌ですが、全て必要なことは頭に入っています。ここにきて自分の成長を感じている気がします。今できることはすべてのデータが無事帰ってくることを祈り、研究を続けるのみです。(バックアップと共に) また、立て続けに家の電子レンジが壊れ、家で使っていたパソコンに静電気が走り壊れるという破壊の日々が続きましたが、ようやく落ち着いてきたようで無事暮らしております。

研究以外に、去年の留学説明会以来、理科大生を中心とした、日本にいる学生で留学を考えている学生から相談を受けるようになりました。まだ人数は少ないですが、メールでのやり取りや、Skype 等で話して、出来る限りの手伝いをしています。これからより多くの学生が日本を飛び出して世界に出て行くようになったらいいなと思っています。

また、現在研究グループの Website の編集を任されています。

<http://ceramics.eng.uci.edu/home.htm>

学会参加や論文投稿などの情報を更新しています。